

2027年4月入学

総合研究大学院大学
先端学術院先端学術専攻
【日本文学研究コース】

博士後期課程

学生募集要項

願書等については、「出願書類様式集」(冊子)を大学宛に請求してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/gias_guideline/application/index.html

【問い合わせ先】 ※問い合わせは志願者本人が行うこと

総合研究大学院大学 学務課学生係

住 所: 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電 話: 046-858-1525・1526

E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp

時 間: 平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00

目 次

I. 先端学術院先端学術専攻の概要	p. 1
II. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項	p. 3
受験される皆さんへ[日本文学研究コース]	p. 9
● 日本文学研究コースの問い合わせ先等について	p. 12

I. 先端学術院先端学術専攻の概要

アドミッション・ポリシー

求める学生像
総合研究大学院大学は、研究に対する強い興味を持ち、学問の全体を俯瞰的に捉えながら、新しい時代を切り開く研究を目指して、豊かな知性と感性を絶えず研磨し、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求める。
入学者選抜の基本的な考え方
総合研究大学院大学は、入学者を選抜するにあたって、我が国の先端学術を牽引する大学共同利用の研究所その他の機関が担う学術分野において、自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力を重視する。そのような力を適正に判定するために、それぞれの専門領域に応じた多様な選抜を実施する。

教育研究上の目的、養成する人材像

本学は、5年一貫制博士課程及び博士後期課程を持つ国立大学で、博士の学位を目指す学生のみ受け入れます。

先端学術院は、本学創設の理念と目的に基づき、大学共同利用機関等を基盤とする大学院大学として、学術のあるべき姿を長期的に見据え、人類社会の知的基盤を支える学術の継承・発展や高度な研究開発の担い手となり、新たな知的価値を創出することができる博士人材を育成し輩出することを目的とします。

総研大とは

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/features/>)をご参照ください。

教員一覧

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/faculty-directory/index.html>)をご参照ください。

授業科目について

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/course/>)をご参照ください。

学位(博士)取得について

5年一貫制博士課程

本学に5年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

博士後期課程

本学に3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

授与する学位

教育コース	学位記に付記する分野	英文学位
人類文化研究	博士(文学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	Doctor of Philosophy
国際日本研究	博士(学術)	
日本歴史研究	博士(文学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
日本文学研究	博士(文学)	
日本語言語科学	博士(文学)又は博士(学術)	
情報学	博士(情報学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
統計科学	博士(統計科学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
素粒子原子核	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
加速器科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)又は博士(工学)	
天文科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)又は博士(工学)	
核融合科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)又は博士(工学)	
宇宙科学	博士(理学)・博士(工学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
分子科学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
物質構造科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)又は博士(工学)	
総合地球環境学	博士(学術)又は博士(理学)	
極域科学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
基礎生物学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
生理科学	博士(学術)、博士(理学)、博士(脳科学)、博士論文の内容によっては博士(医学)	
遺伝学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
統合進化科学	博士(理学)・博士(学術)	

(注)博士(医学)については、医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部を卒業又は医科学修士の学位を有し、5年一貫制博士課程へ入学した者のみが対象となります。

II. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項

1. 募集人員

教育コース	4月入学	10月入学
人類文化研究	4名程度	-
国際日本研究	3名程度	-
日本歴史研究	3名程度	-
日本文学研究	2名程度	-
日本語言語科学	3名程度	-
情報学	12名程度	若干名
統計科学	6名程度	若干名
素粒子原子核	1名程度	若干名
加速器科学	1名程度	若干名
天文科学	1名程度	若干名
核融合科学	2名程度	若干名
宇宙科学	3名程度	若干名
分子科学	5名程度	若干名
物質構造科学	1名程度	若干名
総合地球環境学	2名程度	-
極域科学	1名程度	若干名
基礎生物学	3名程度	若干名
生理科学	6名程度	若干名
遺伝学	2名程度	若干名
統合進化科学	1名程度	若干名
入学定員	62名	

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

【出願資格認定審査を要しない者】

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び入学の前月までに取得する見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑤ 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有すると同等以上の学力があると認められた者及び入学の前月までに認められる見込みの者

【出願資格認定審査を要する者】

- ⑦ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の前月末日までに24歳に達しているもの

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1525・1526]へ照会してください。

3. 出願資格認定審査

- [1] 出願資格⑦～⑨により出願しようとする者については、以下の書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。
- [2] 出願資格⑦～⑧により出願しようとする者についての「修士の学位を有する者と同等以上の学力」の確認は、書類審査で行います。なお、必要のある場合は面接を行います。
- [3] 出願資格⑨により出願しようとする者についての「修士の学位を有する者と同等以上の学力」の確認は、書類及び雑誌等に掲載された学術論文により行います。なお、必要のある場合には面接を行います。詳細については、本コースに問い合わせてください。

出願資格認定審査についての提出書類等は、以下のとおりとします。

(1) 提出書類

ア. 入学者選拔出願資格認定申請書	本学所定の様式(別紙様式7-2)
イ. 通常の出願書類	「5. 出願書類等」に定める書類 ※ただし、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。
ウ. その他コースが必要と認める書類	詳細については、「受験される皆さんへ」を参照してください。

上記ア～ウは、一括して提出してください。また、必要に応じてコースから追加書類の提出を求める場合があります。

(2) 提出期間(出願資格⑦～⑨で出願する者のみ)

入学区分	出願資格認定申請期間
2027年4月入学	2026年11月4日(水)～2026年11月6日(金)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(3) 提出方法

原則として郵送とします。市販の角形 2 号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。また、表に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

出願書類一式が封筒に入りきらない場合や海外在住の場合は、箱詰めなど他の郵送方法で送付しても構いません。ただし、その場合でも追跡可能な方法により、送付してください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、提出期間最終日の 17 時までに持参してください。

(4) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、願書受付期間の前までに本人に通知します。

出願資格を認定された者については別紙様式8を参照し、検定料を払い込んでください。また、払い込み後、検定料払込証明書に振替払込受付証明書(お客さま用)を貼付け、学務課学生係まで提出してください。

4. 願書受付

出願資格①～⑥により出願しようとする者については、「5. 出願書類等」に定める書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。

(1) 受付期間

入学区分	出願期間
2027年4月入学	2026年12月3日(木)～2026年12月9日(水)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(2) 出願方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。出願書類一式が封筒に入りきらない場合や海外在住の場合は、箱詰めなど他の郵送方法で送付しても構いません。ただし、その場合でも追跡可能な方法により、送付してください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、受付期間最終日の17時までに持参してください。各コースを置く基盤機関では受け付けませんので注意してください。

(留意事項)

郵送前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。

郵送・提出先
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
総合研究大学院大学 学務課学生係
電話:046-858-1525・1526

5. 出願書類等

後述の「受験される皆さんへ」を熟読してください。また、出願書類は黒や青のペン又はボールペン(消せるものや時間の経過により字が消えるものは不可)で記入してください。

【全員提出が必要なもの】

書類名	留意事項
入学願書・受験票	本学所定の様式(別紙様式1-B)に記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(4.5cm×3.5cm)を、所定の位置に貼り付けてください。 募集要項の内容を熟読し、その内容に同意した上で署名してください。
成績証明書	原本を提出してください。 出願資格①:大学院(修士課程又は専門職大学院)と大学(学部)の成績証明書すべて ※編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前(高等専門学校又は短期大学等)の成績証明書も提出すること 出願資格②～⑥:外国の大学院(修士課程又は専門職大学院)と大学(学部等)の成績証明書すべて 出願資格⑦～⑨:最終学歴に係る成績証明書
修士課程修了(見込)証明書等	原本を提出してください。 出願資格①:大学院(修士課程又は専門職大学院)の修了(見込)証明書 ※大学院を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格②～⑤:外国の大学院等の修了(見込)証明書 ※大学院等を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格⑥～⑨:最終学歴に係る卒業証明書
これまでにを行った研究の要旨	本学所定の様式(別紙様式3・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。 詳細は様式及び「受験される皆さんへ」を参照してください。
研究発表活動の概要	本学所定の様式(別紙様式4・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。 詳細は様式及び「受験される皆さんへ」を参照してください。
志望研究内容	本学所定の様式(別紙様式5・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。 詳細は様式及び「受験される皆さんへ」を参照してください。

書類名	留意事項
検定料	検定料は 30,000 円です。払い込み方法については別紙様式 8 を参照してください。 国費外国人留学生は検定料の納付は不要です。国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。
連絡受信先シール	本学所定の様式(別紙様式 9)により作成してください。
外国為替及び外国貿易法第 25 条第 1 項及び第 2 項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	簡易チェックフローチャートを参照し、本学所定の様式(別紙様式 10)により作成してください。簡易チェックフローチャートの詳細については、総合企画課研究協力係[E-mail: kenkyo@ml.soken.ac.jp]にお問い合わせください。 ・簡易チェックフローチャート https://www.soken.ac.jp/admission/file/tokuteiruikaei.pdf ※日本国外に居住する者は提出不要
レターパックプラス(受験票送付用)	受験票等について「レターパックプラス」で発送いたしますので、郵便局で購入のうえ、提出してください。※海外在住の場合は、願書受付期間の前に学務課学生係へ問い合わせること

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類名	該当者	留意事項
履歴書	外国で教育を受けた出願者は全員	本学所定の様式(別紙様式 1-2・本学ウェブサイトよりダウンロード可)に所要事項を記入してください。
学位(修士)論文の要旨	修士の学位を有する者又は修士課程在学中で修士論文を提出済みあるいは作成中の者	本学所定の様式(別紙様式 15・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により、作成してください。修士論文作成中の者も提出してください。詳細は様式及び「受験される皆さんへ」を参照してください。
修士論文(1 編 3 部)	修士の学位を有する者又は修士課程在学中で修士論文を提出済みの者	詳細は「受験される皆さんへ」を参照してください。
修士論文提出予定日報告書	修士課程在学中で修士論文を作成中の者	本学所定の様式(別紙様式 16)を出願期間に提出し、記入した論文提出予定日までに修士論文をコース担当事務(p.11 の問い合わせ先)へ提出してください。 詳細は様式及び「受験される皆さんへ」を参照してください。
学術論文(3 編以内、1 編につき 3 部)	公刊した学術論文がある者(修士論文を除く)	詳細は「受験される皆さんへ」を参照してください。
在職在学許可書	在職している者(正規の職員である者又は雇用期間が 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間以上の職に就いた者)	本学所定の様式(別紙様式 6)により当該所属長が作成したものを提出してください。ただし、在職在学許可書の提出が困難な者は、本人が入学時に在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等を提出する旨を記載した申立書(様式任意)をもって代えることができます。 ※現在在職中の者で、本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書(様式任意)を提出すること
在留カード又はパスポートの本人情報ページ	外国籍出願者	日本国内に居住する者は、在留カード(両面)のコピーを提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの本人情報ページのコピーを提出してください。

(注1)提出された出願書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。

(注2)婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。

(注3)出願書類(別紙様式)は、冊子版の出願書類様式集をご利用ください。なお、別紙様式 1-2・3・4・5・15については、本学ウェブサイトからダウンロード可能です(https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/jlit/index.html)。

(注4)出願書類は日本語もしくは英語で記入してください。また、日本語もしくは英語ではない言語で記載された証明書を提出する場合は、日本語又は英語の証明書等を添付してください。

(注5)博士後期課程に在学中の(または在学していた)出願者は、博士後期課程の成績証明書を提出してください。また、博士後期課程を修了した出願者は修了証明書を、退学した出願者は退学証明書を提出してください。

6. 選抜の方法、期日及び試験会場

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考)と第二次選抜(論文審査・面接)により行います。
本コースにおける選抜の詳細については、「受験される皆さんへ」を参照してください。

入学区分	第二次選抜(面接)実施日
2027年4月入学	2027年1月28日(木) 予備日:2027年1月29日(金)

(注) 入学選抜の日時等詳細は受験票送付の際に通知します(原則、レターパックプラスで郵送)。上表の入学選抜の期間のうちの指定された入学選抜の期日及び時間に、余裕をもって集合してください。

なお、受験票が入学選抜実施期間の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係まで問い合わせてください。
送付予定日については、本学ウェブサイトを確認してください。

[https://www.soken.ac.jp/admission/application info/jlit/index.html](https://www.soken.ac.jp/admission/application%20info/jlit/index.html)

試験会場:

教育コース	試験会場
日本文学研究	国文学研究資料館 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3 ・多摩モノレール高松駅より徒歩約10分 ・JR立川駅よりバスで「立川学術プラザ」下車、徒歩1分 ・詳細については国文研ウェブサイト(https://www.nijl.ac.jp/access/)参照 担当係:総務課 教育支援係 電 話:050-5533-2915

7. 合格者発表

入学区分	発表時期
2027年4月入学	2027年2月上~中旬

※詳細は追って出願者に通知します。

合格者に対しては合格通知書を発送します。

合格者発表は本学ウェブサイト上([https://www.soken.ac.jp/admission/general admission/result/](https://www.soken.ac.jp/admission/general%20admission/result/))でも行いますが、必ず郵送による本人あて通知文書により再度確認してください。また、電話による照会には、一切応じません。

8. 入学手続き

- (1) 入学手続き期間は、2027年4月入学者は2027年3月上~中旬を予定していますので、合格者は所定の期間内に入学手続きを完了してください。なお、詳細は、合格者に対して別途通知します。
- (2) 入学に要する経費は次のとおりです。ただし、国費外国人留学生は入学金及び授業料は不要です。

入学金	282,000 円
授業料(年額 535,800 円のうち半期分)	267,900 円
学生教育研究災害傷害保険料(3 年分) (通学特約・賠償特約付)	3,620 円

注1 入学時及び在学中に、入学金及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

注2 納付済みの入学金は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2027年4月入学者は2027年3月31日までに入学を辞退した場合、返還します。

- (3) 有職者(非常勤、アルバイトを除く。)については、任命権者が発行する書類(在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか)を提出してください。本学入学の前月までに退職する者は、退職証明書を提出してください。
- (4) 出願時に他の大学・大学院に在籍している者(本学入学の前月までに卒業・修了する者は除く)は、退学証明書を提出してください。
- (5) 外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得してください。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

9. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業を有している等の事情により、標準の修業年限(3年)を超えて在学しなければ課程を修了することができない者が、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合、その計画的な履修を認める制度です。

この制度の詳細に関しては、学務課教務係[E-mail:kyomu@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1523・1524]にお問い合わせください。

10. 注意事項

- (1) 出願及び受験の際は、「受験される皆さんへ」をよく読んでおいてください。
- (2) 出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。
- (3) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。
- (5) 心身に障害のある出願者で受験時及び入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる場合には、出願書類受付期間の3か月前までにその旨お知らせください。
- (6) 受験辞退される際には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (7) 出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (8) 本学では、原則として二重学籍を認めていません。
- (9) 日本国籍の方について、管理上、姓名に含まれる旧字体、異体字等は JIS 第一水準または第二水準の範囲内の文字に置き換えられることがありますので、ご了承ください。
- (10) 天災等により、入学者選抜の実施方法を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。

11. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則」等を定め、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し、審査を実施しています。このことから、規制事項に該当する、またはそのおそれがある場合には、ご希望の教育・研究内容の変更をお願いすることがあります。また、入試の結果にかかわらず、入学を許可できない場合があります。

安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。また、審査手続きの詳細は各コースの担当事務までお問い合わせください。

・経済産業省のウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

12. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。
なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

受験される皆さんへ[日本文学研究コース]

【求める学生像】

日本文学及びその周辺分野の研究に強い関心と意欲を有し、将来にわたって研究活動を継続させ、自立した研究者として社会に貢献できる学生を求めます。

1. 選抜の方法について

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考)と第二次選抜(論文審査・面接)により行います。

下記「4. 採点・評価及び合否判定」も併せてご参照ください。

【第一次選抜】

- ① 書類選考:志望研究内容等、日本文学研究コースが提出を求めた資料に基づいて選考を行います。

【第二次選抜】

- ② 論文審査:修士論文等の実証性・論理性・独創性等、基礎的な研究能力を重視します。
- ③ 面接:第一次選抜合格者についてのみ行います。論文内容・専門知識・研究計画等に関する口頭試問を通じて、研究者としての適性を判断します。

2. 出願にあたっての注意事項

- (1) 本コースは、本学の他のコースとの併願は認めておりません。
- (2) 指導を希望する教員と研究指導領域・内容について事前に相談することが望ましいです。
事前相談について、教員との仲介を希望する場合は、下記「5. 問い合わせ先」までご連絡ください。
- (3) 海外在住者(外国籍の者・日本国籍の者)の出願について
海外に在住する出願者については、本人の希望により、面接方法について配慮することがあります。所定の日時に国文学研究資料館に来て面接を受けるのが困難な場合は、2026年10月末日までに下記「5. 問い合わせ先」に申し出てください。

3. 出願書類・論文の注意事項

- (1) これまでに行った研究の要旨(別紙様式3)について
 - ・ 修士課程で行った研究等、これまでの研究内容を日本語 2,000 字程度で記入してください。
- (2) 研究発表活動の概要(別紙様式4)について
 - ・ 学術論文、研究報告、学会発表、特許等の題名(発表したものすべて)を記載してください。
 - ・ その内、修士論文に関係するものには題名の左頭に○をつけてください。
 - ・ 著者名、論文名、巻(号)、ページ、発表年(西暦)を記載してください。
 - ・ 公表したものがなければ、「なし」と記入してください。
 - ・ 共著又は共同発表の場合は、著者名・発表者名を発表時の順番どおりに全員記入してください。共著又は共同発表が多数の場合は、全員ではなく本人が何人中の何番目かであることを記載するだけで構いません。
 - ・ 修士論文の題目を記載してください。
 - ・ 掲載誌が査読雑誌の場合は、その旨を記入してください。
 - ・ 公刊予定の無い研究発表活動については、記載しないでください。
 - ・ 公刊した学術論文を提出する場合は、その題名を記載の上、特に評価の対象としてほしい論文1編の題名に下線を付し、要旨を日本語 1,000 字程度で記入してください。特に評価の対象としてほしい論文が修士論文の場合には、修士論文の題名に下線を付してください。
- (3) 志望研究内容(別紙様式5)について
 - ・ 今後の志望研究テーマ及びその目的と意義、研究方法、研究計画、その他等の項目に区分して、日本語 2,000 字程度で具体的に記入してください。
 - ・ 「指導教員」欄には、指導を希望する教員名を記入してください。

- (4) 学位(修士)論文の要旨(別紙様式 15)について
- ・ 日本語 2,000 字程度で記入してください。
 - ・ 特別措置により「修士論文提出予定日報告書(別紙様式 16)」を提出する場合も、要旨は出願期間内に必ず提出してください。
- (5) 修士論文について
- ・ 写しを 3 部提出してください。
 - ・ 修士論文の表紙右上に「修士論文(写し)」と朱書きしてください。
 - ・ 写しは、紙が抜け落ちないように綴じてください(クリップ留め不可)。
 - ・ 修士論文は、所属の大学院に提出したもの、又は提出予定のものと同一であることを原則とします。
 - ・ 論文が日本語以外の言語で書かれている場合には、論文全体の内容が分かるような日本語による概要(タイトル、目次、各章ごとの抄訳を必ず含めること)(様式任意・8,000 字以上 12,000 字以内)3 部も提出してください。
- (6) 修士論文提出予定日報告書(別紙様式 16)について
- ・ 所属大学院の修士論文提出締切日が出願期間後であるため、出願時に修士論文を提出できない場合は、2027年 1 月 12 日(火)15 時まで提出の延長を認める特別措置があります。この特別措置を希望する者は、出願時に「修士論文提出予定日報告書(別紙様式 16)」により届け出た上で、修士論文の写し(3 部)を下記「5. 問い合わせ先」へ上記期限内必着にて提出してください。なお、持参による窓口提出を行う場合は、必ず、事前に下記「5. 問い合わせ先」に連絡の上、論文は厳封して提出してください。
 - ・ 上記期限を過ぎても修士論文の提出のない者は、受験を辞退したものとします。
- (7) 公刊した学術論文(修士論文を除く)について
- ・ 学術論文を 3 編以内(各 3 部)提出することができます。
 - ・ 学術論文には、単著(単行本)や分担執筆の論文集の中の一章(一論文)も含めることができます。
 - ・ これらの論文を提出する場合は、その題名を「研究発表活動の概要(別紙様式 4)」に記載してください。
 - ・ そのうち特に評価の対象としてほしい論文 1 編について、「研究発表活動の概要(別紙様式 4)」に記載した題名に下線を付してください。共同執筆の学術論文については、筆頭著者の場合に限り、下線を付すことができます。
 - ・ 下線を付した論文(修士論文を除く)の要旨を「研究発表活動の概要(別紙様式 4)」に日本語 1,000 字程度で記入してください。
 - ・ 公刊前の学術論文を提出することも可能ですが、受理証明書(様式任意)を必ず提出するとともに、「研究発表活動の概要(別紙様式 4)」においても刊行予定と記入してください。
 - ・ 論文が日本語以外の言語で書かれている場合には、論文全体の内容が分かるような日本語による概要(タイトル、目次、各章ごとの抄訳を必ず含めること)(様式任意・8,000 字以上 12,000 字以内)3 部も提出してください。
 - ・ 修士論文(博士論文)の提出が無い場合[出願資格⑥～⑨の者]は、公刊した学術論文の提出が必須となります。
- (8) 他大学院博士課程修了者について
- 他大学の大学院に提出した博士論文がある場合は、博士論文の写し 3 部及び博士論文の要旨(様式任意・日本語 2,000 字程度)3 部を提出してください。博士論文が日本語以外の言語で書かれている場合には、論文全体の内容が分かるような日本語による概要(タイトル、目次、各章ごとの抄訳を必ず含めること)(様式任意・8,000 字以上 12,000 字以内)3 部も提出してください。

4. 採点・評価及び可否判定

(1) 第一次選抜(書類選考)

書類選考は、出願書類に基づき、研究の妥当性、具体性、学問的意義の各項目について行います。

(2) 第二次選抜(論文審査・面接)

論文審査は、実証性、論理性、独創性、研究史の把握、論文形式の各項目について 5 段階で採点し、それをふまえて日本文学を研究する基礎的な能力を総合的に評価します。

面接は、論文審査に基づき、研究意欲、表現能力、将来性の各項目について 5 段階で採点し、それをふまえて研究者としての適性を評価します。

(3) 合否判定

第一次選抜及び第二次選抜の評価を総合的に判断し、合否を判定します。
採点評価に関わる問い合わせには一切お答えできません。

5. 問い合わせ先

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3
国文学研究資料館 総務課 教育支援係
受付時間 平日 9 時～17 時
電話 050-5533-2915
E-mail:edu-ml1@nijl.ac.jp
ウェブサイト <https://www.nijl.ac.jp/>

日本文学研究コースの問い合わせ先等について

ウェブサイトを参照の上、日本文学研究コースの概要、授業科目、各教員の教育研究内容をよく確認してください。

日本文学研究コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国文学研究資料館 〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3 担当係:総務課 教育支援係 電話:050-5533-2915 E-mail:edu-ml1@nijl.ac.jp
指導教員一覧	https://www.nijl.ac.jp/education/university/information/supervisor/